

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
330012	X-21-B-3-330012	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
日韓朝関係論				吉澤 文寿	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

この講義は「日本史（近現代）」および「韓国朝鮮史概説」の内容をふまえて、植民地支配と南北分断の問題をテーマとして、おもに1945年から現在までの日本と南北朝鮮との関係を考察することにより、朝鮮現代史および日朝関係史を連関させて理解することを目指す。

各回の授業内容

<p>第1回</p> <p>【授】 講義の概要、レポート作成および参考文献案内</p> <p>【前・後】 伝達事項の確認（予習・復習各2時間）</p> <p>第2回</p> <p>【授】 問題の所在（1）…植民地支配をどのように問うのか</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第3回</p> <p>【授】 問題の所在（2-1）…朝鮮の「解放」、そして分断体制の成立と日本</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第4回</p> <p>【授】 問題の所在（2-2）…朝鮮戦争、そして日本との関係について</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第5回</p> <p>【授】 問題の所在（3）…在日朝鮮人の形成（1945～1952年）</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第6回</p> <p>【授】 在日朝鮮人帰国事業～1950年代の日朝関係</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第7回</p> <p>【授】 日朝国交正常化（1965年）</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第8回</p> <p>【授】 米中和解と南北対話の開始～南北共同声明（1972年）をめぐる展開を中心に</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p>	<p>第9回</p> <p>【授】 1970・80年代の日本と南北朝鮮～経済と人権の問題を中心に</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第10回</p> <p>【授】 在日朝鮮人と日本社会～1970・80年代を中心に</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第11回</p> <p>【授】 脱冷戦と南北対話の進展（1987年～現在）</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第12回</p> <p>【授】 日韓関係における「過去清算」問題</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第13回</p> <p>【授】 日朝国交正常化交渉</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第14回</p> <p>【授】 脱冷戦期の在日朝鮮人と日本社会</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第15回</p> <p>【授】 まとめ…現在の日本と南北朝鮮との関係と私たちの課題</p> <p>【前・後】 書籍等で関連部分の予習/復習（予習・復習各2時間）</p> <p>第16回</p> <p>【授】 定期試験（レポート提出）</p> <p>【前・後】 レポート作成（予習・復習各2時間）</p>
--	--

成績評価方法

期末レポート（70%）および講義ごとに配布するコメントカードおよび講義代替レポート（30%）により成績評価を行う。
コメントカードは授業中に公表し、講評を加える。
上記15回の講義のうち、1回分を課題レポートに代替する。詳細は授業中に指示する。

教科書・参考書

教科書は使用しない。講義時にレジュメを配布する。

受講に当たっての留意事項

本講義を理解する上で、「日本史（近現代）」および「韓国朝鮮史概説」を履修しておくことが望ましい。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

学習到達目標

受講者が日本と南北朝鮮との関係の概要を習得したうえで、1) みずからの関心に即してテーマを設定し、2) そのテーマに即した文献および資料を収集および分析し、3) 一定の結論に到達できることを目指す。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習